

教育振興運動 60 周年記念大会

第2次案内

[1955～：教育振興運動誕生の背景]昭和 30 年代に行われた全国学力調査の本県の結果、進学率等の教育の普及度は、全国を下回る状況でした。さらには、県民一人当たりの教育費の支出、市町村の財政における教育予算についても、全国と比較すると、まだまだ少ない状況でした。これらの教育水準における全国との格差を縮小しようという願いのもと、昭和 39 年に、全国に先駆けて「教育振興基本計画」が策定され、当時の工藤繁雄知事による「教育振興運動」が示されました。[1965：運動のスタート]その推進活動は運動の趣旨を広く PR するために、県民連合会や市町村教育振興協議会などの組織が設立され、地域ごとに推進組織のもと、「子どもに机を」「お土産には本を」を合言葉として、1965 年から「読書運動」を展開しました。昭和 45 年は岩手国体の年にあたり、岩手国体の盛況を背景に、県民連合会は「読書運動」を推進し、もちろん、学校も、家庭も、地域も、教育条件も着実に向上しました。[1970～1979：読書運動の展開]「読書運動」の展開や、「学力向上運動」の展開や、「学力向上運動」の重点項目として「読書運動」が位置づけられました。[1980～1983：青少年の健全育成]児童生徒の健全育成を目的とした「在学青少年健全育成教室」のモデル事業が定着しました。[1984～1990：青少年の健全育成]青少年の健全育成や学校週5日制への対応を重点課題として教振運動が推進されました。[1991～2004：生涯学習の推進]生涯学習の推進や学校週5日制完全実施に対応するべく、「地域の教育力向上支援事業」が推進されました。[2005～2014：10 周年プロジェクト]運動の原点に立ち返り、運動の活性化を図り、5 者の連携を推進する取り組みが実施されました。[2015～2019：みんなで教振！5 周年プラン]全県共通課題の「情報メディアとの上手な付き合い方」と地域の教育課題の解決に取り組みました。[2020～2023：5 周年プラン]地域学校協働活動と総合的かつ一体的に推進することとし、「情報メディアとの上手な付き合い方」「コロナ禍との連携による『目指す子どもの姿』の共有に基づく運動の展開」を進め、令和6年度はその総括の年です。[2024～：令和6年度プラン]全県的な喫緊の教育課題に資するため、全県共通課題として「家庭学習の充実」と「体験活動の充実」を推進します。



記念講演



「体験活動と子どもの成長～5者連携の可能性～」

國學院大学 人間開発部 子ども支援学科 教授 鈴木みゆき 氏

【プロフィール】お茶の水女子大学大学院家政学研究科児童学専攻修了 博士
和洋女子大学人文学群こども発達学類教授
独立行政法人国立青少年教育振興機構理事長を経て現職
日本音楽著作権協会正会員

令和
7年

1月14日(火)

13:10～16:50

会場

トーサイクラシックホール岩手
大ホール (岩手県民会館)

対象

市町村教育委員会担当者、市町村教育振興運動協議会担当者、教育振興運動推進担当者、地域学校協働活動推進担当者、地域学校協働推進員、学校運営協議会委員、学校管理職・教職員、PTA、教育振興運動推進幹事、教育振興運動に関わっている全ての方

内容

アトラクション、表彰、行政説明、事例発表、記念講演等

本県独自の運動である教育振興運動は、子ども、家庭、学校、地域、行政の5者が、役割と責任を果たし、連携して地域の教育課題の解決に取り組む実践活動で、2024年(令和6年)で60周年を迎えます。(令和2年度から地域学校協働活動と総合的かつ一体的に推進)

そこで、県内の関係者が一堂に会し、県内の優れた取組や事例の共有、全県共通課題の解決に資する講演により、本県における地域と学校の連携・協働の一層の充実を図るため、本記念大会を開催します。

主催：岩手県教育委員会(生涯学習文化財課)

共催(予定)：県内各市町村、各市町村教育委員会 後援(予定)：各関係団体




オンデマンド
配信予定

協力企業
ブース
出展

参加
無料

教育振興運動 60 周年記念大会日程

時 間	内 容
12:30～	受 付 ※協力企業によるブース出展（体験プログラムの紹介や連携情報等）
13:10 ～13:40	<開会行事> 1 オープニングアトラクション 作文発表「地域を守るために」 岩手県立一関第一高等学校 1年 後藤 穂風 さん 2 表彰「教振標語コンテスト」 3 開会 4 主催者挨拶 岩手県教育委員会教育長 5 来賓祝辞
13:40 ～13:50	<趣旨説明> 岩手県教育委員会事務局 生涯学習文化財課 「『地域学校協働活動・教育振興運動』推進5か年プラン(R2～R6)」の総括と 「教育振興運動推進プラン（2024～2028）」の取組について
13:50 ～14:00	<ガイダンス> 岩手県教育委員会事務局 学校教育室 「岩手県における学力向上の取組」
14:00 ～15:05	<事例発表> 「『地域学校協働活動・教育振興運動』推進5か年プラン(R2～R6)」の取組について 1 「情報メディアとの上手な付き合い方」 釜石市立大平中学校 副校長 河野 俊治 氏 2 「CS との連携による『目指す子どもの姿』の共有に基づく運動の展開」 紫波町教育委員会事務局 社会教育指導員兼 CS コーディネーター 佐々木 勉 氏 3 助言 岩手大学教育学部 准教授 深作 拓郎 氏
15:05 ～15:20	休憩 ※協力企業によるブース出展（体験プログラムの紹介や連携情報等）
15:20 ～16:40	<記念講演> 「体験活動と子どもの成長～5者連携の可能性～」 國學院大學 人間開発学部 子ども支援学科 教授 鈴木 みゆき 氏  【プロフィール】 お茶の水女子大学大学院家政学研究科児童学専攻修了 博士 和洋女子大学人文学群こども発達学類教授 独立行政法人国立青少年教育振興機構理事長を経て現職 日本音楽著作権協会正会員
16:40 ～16:50	<閉会行事> 1 主催者挨拶 2 閉 会 ※協力企業によるブース出展（体験プログラムの紹介や連携情報等）

【参加申込】

- ・ 関係者の申し込みは、各市町村教育委員会により取りまとめのうえ、各教育事務所を通じての申し込みとなります。
- ・ 個人での参加については、当日会場にて受付けます。

【問合せ先】岩手県教育委員会事務局 生涯学習文化財課 地域学校連携担当 TEL 019-629-6173